

タウンミーティング あったかいまち「ふじみ野」を目指して
日時 平成26年9月14日（日） 午前10時30分～正午
会場 南台2丁目集会所（南台2丁目）
天気 晴れ

参加者 41人



主な意見等

参加者 噂では27年度に保育所が民営になると聞きましたが、どのような考えのもとに進めているのか、またなぜそのような決断になったのか、民営化することのメリットやデメリットも併せてお伺いします。

市長 巷では「保育所が潰される」と反対運動も起きているようですが、小・中学校の耐震補強工事も終わり、災害防災拠点となる市役所庁舎や消防本部も耐震工事を行っている中、保育所につきましては、国が延床面積500㎡以上で2階建て以上のものを特定建設物として耐震診断の対象と指定しており、本市でもこの基準で診断を行った結果を踏まえて、滝保育所の耐震補強工事を行いました。かなりの費用がかかりました。

また現在の国の方針では、公立保育所には建設・運営ともに補助金を出さないというものになっており、保育施設の運営管理の主体が官から民へと移行していく中で、今回市内4カ所の保育所の耐震状況が悪いという結果が出ました。亀居保育所・西保育所・亀久保保育所・鶴ヶ岡保育所の耐震性が良くないという診断結果です。建物が築40年以上を経過しており、しかも西保育所以外は民間の敷地と建物を借りていることもあって、亀居保育所と西保育所については来年3月で運営を止める決断をしました。

待機児童対策で来年4月に民間保育所3園開設予定、283名の待機児童対策を予定していましたが、地震が起こったときに危ないと言われている保育所の子どもたちは優先的に、その予定していた保育所に移っていただくというのが市の考えです。また0歳児3人に対し保育士1人の割り合いで保育が行われている現在、いざという時の避難等のことを考えると、安全性を重視して新しい建物に移っていただいた方がよいだろうというのが、市の考えです。

私事ですが、わが子が小さかった頃、夫婦共稼ぎの中で保育所にお世話にな

りました。最初のうちは子どもが保育所に慣れず、親と別れる時に泣き叫んで本当につらい思いをしました。そのことを思うと、ようやく子どもが保育所に慣れて先生方にも親しみを覚えたのに、その慣れた保育所を離れて新しい所へ子どもを預けるということは、お子さんの気持ちも考えると本当につらいことですが、やっぱり市としては安全を優先しようという決断なのです。

また、先ほど申し上げた待機児童対策の枠を使っても、なお103名の待機児童が入所できます。皆さんの税金を使って子育て支援を行っている中で、先ほど国から補助金が来ないと申し上げましたが、例えば今新たに市営保育所を建てると約2億5千万円かかります。民間なら、市からの支出は5千万円です。また運営費の面でも公立には1円も補助がありません。さらに、公立で子ども1人の保育費用に約140万円使うところを、民間の場合は国や県の補助金も入るので約40万円で済む。同じ費用で公立が1人分のところ、民間なら3人のお子さんを預かることができるのです。皆さんからお預かりした貴重な税金を、保育を必要とする人のために使うのはもちろんですが大前提は安全確保です。反対のご意見の方もいらっしゃいますが、市としてはそのような姿勢で子育て支援を進めていきたいと思っています。このことについては、むしろこちらから説明したいと思っていましたので、ご質問をいただき、ありがとうございました。

参加者 民間保育になることでサービスのレベルアップはあるのですか。

市長 民間の保育所にはそれぞれの保育理念がありますから、そういった部分でのプラスはあると思います。

参加者 道路について質問です。川越街道や駅前はいくらか広いが、この辺りは車がすれ違うことも難しいくらい道幅が狭いです。家を失くして道を広げるとするのは大変だろうけれども、今は歩く人も大変な状況なのです。このあたりをどう考えていますか。

市長 人口増加率との関係から将来的には車の数も減るかもしれませんが、今の生活の中で安全であってほしい、便利であってほしいというのは誰もが願うことだと思います。残念ながらこのふじみ野市、例えば旧上福岡エリアは昭和30年代頃から公団が（駅の）両方にできて、当時は「東洋一の世帯数」と言われて、その人口増加に伴ってどんどん発展して県内でも一目置かれるエリアに発達していきましたが、当時は住宅事情に道路整備が追い付かなかった。ですからこの辺りは比較的区画整理がされている場所なのでまだよいのですが、大原や北野あたりは農道がそのまま道になってしまったので大変な道路事情です。

ですから道路については各地域に住む皆さんのご要望を聞きながら、例えば

通学路ならスクールゾーンにするなどの対処をしていきたいと考えています。ただ難しいのは、道幅がないから一方通行にすると、逆にすれ違わない安心感から車が早い速度を通ったりすることがあるということです。そういった交通問題に関する配慮も考えながら改善を図っていきたいと思っています。お住まいの地域の皆さんで話し合っていていただいて、今回タウンミーティングで言えなかったことでも結構ですので、意見がありましたら道路課や秘書室に意見をお寄せください。道路課も日頃市内を点検して回っていますので、ぜひお声を掛けてください。

参加者 出掛けた先で住まいを聞かれて「埼玉県のふじみ野市」と答えても、ふじみ野市の認知度が低く相手の反応が薄いことがよくあります。ふじみ野市をPRできるものがあれば、知らない人とでももっと話が進むのに、と思います。市として一番PRできるものを教えてください。

市長 実は私も同じ意見です。「隣が、蔵の街で有名な川越市です」くらいしか言えません。実際、今は一般の方にこれと言えそうなものはありません。合併からほぼ10年経ちますが、それ以前のそれぞれの市町の歴史はあるにしても、今ふじみ野市としてPRできるものについては、逆に私が皆さんにお尋ねしたい気持ちです。常日頃から職員にはよく「県や国で何か一番になろう」と言っていますが、例えば特定健康診断や大腸がん検診の受診率などは県内1位なのですが、きっと一般の方にはピンとこないですね。何か妙案がありましたらぜひ教えてください。ちなみにこれもやはり万人受けはしませんが、災害時には携帯電話よりよく繋がるというPHS電話を、防災用に職員間で100台配備しています。またIP電話も市内53拠点に配置しており、これは内陸部ではふじみ野市が初めてなのですが、やはり一般の方にはあまり伝わらないでしょうか。今後何か特徴を出していきたいと思っています。

参加者 南台公園（通称：オレンジ公園）に水道を引きたいがどうしたらよいですか。

市長 水道を引けるかどうかは今すぐに返答できないので、要望として承ります。公園が市内にたくさんあるわけですが、災害時には整備していても水道が使えなくなってしまうこと等がありますので、どのエリアに水道がどれだけあるか等を調べて、必要性や優先順位等を考えて決定していくことになると思います。今回のご意見はご要望としてお承りします。

参加者 我が家には小学生と保育園児がいます。同じ地区に住んでいるのに駒西小に通う子と亀久保小に通う子に分かれてしまいます。防災避難場所が分かれてもいます。義務教育の間は子どもたちは同じ学校に通うことが、地域の繋がりを

育む上でも望ましいのではないかと思います。親として、同じ町内の子どもたちは同じ学校に通ってほしいです。現状のまま指定校変更の手続きをするしかないのか、あるいは学区域を見直してはどうでしょうか。この辺りは学区域が入り組んでいますので、見直した方がよいのではないのでしょうか。合併して年数が経った今、そのような時期に来ているのではないのでしょうか。

市長 今現在は、指定校変更の要件を緩和しているところです。例えば中学校の部活動を理由とすることもその一つです。学区域が入り組んでいる地域は旧上福岡市と旧大井町の課題だったところで、今でもその現状です。話は少し違いますが私が以前消防団にいた頃、火災があると水道の水圧を上げるわけですが、〇〇付近で火災と通報があって行ってみても、火災現場のエリアが上福岡か大井かで水圧が全く違いました。現在は合併したのでそのようなことはありませんが、やはり今現在、学区域が隣の家と違うのは何故かと思われるのは当然のことだと思います。一定期間をかけて考えていくのが望ましいと思っていますが、この学区域を変えるということは、皆さんにとっても教育委員会にとっても大変な問題で、いろいろな課題が出るのも事実です。昔、第2小と第4小の統廃合問題に学区審議員の委員として関わったことがありました。国有地と市有地、また市の予算のこと等いろいろな要件から、市の将来のことを考えて、母校である第2小を廃校する決断をしましたが、その時に通学区が変わるということで対象地域の親御さんが大勢で我が家に来たことがありました。学区域が変わるということは本当に影響がすごいのです。それでも、やはり見直しをする時期に来ているのではと感じます。この話題は本当に大変なことですが、もう間もなく市長と教育長と一緒に教育の課題に取り組めるようになりますので、協議していきたいと考えています。ちなみにですが、今つくづく思うのことは、母校がモニュメントだけになってしまった現在、上野台地域の再開発で戸建て住宅等がどんどん増えて、上野台小の児童数が満杯状態になっています。当時は市長になるなど思ってもいませんでしたが、今はなぜ自分の母校を失くしてしまったのかと思っています。

学区域再編につきましては、皆さんの理解が得られるよう、いかにできるだけ早期に進められるかを考えながら検討していきます。

参加者 中学校区も同じことではないでしょうか。

市長 その通りです。小学校区と同じように考えていきます。同じ地域や町会などは同じ学校へ通えることが理想ですが、地域の地形等の関係もありますので、そのあたりはうまく工夫して決めていくことができればと思っています。

参加者 ふじみんの大ファンで、グッズも全部持っています。今後のグッズが増える

予定をお伺いします。

市 長 ふじみんに関しては、もちろん市（産業振興課）も関わっているのですが、観光協会が全てを決めているので、私からは今お答えすることができません。ただ、グッズについては売り値が安いなどは思います。税金を充てて作っているのですから、その売り上げで新たなものを作るなど繋げていくことが望ましいのですが、売り値を上げることで品物が売れ残ってはいけないという担当職員の懸念もあるので難しいところです。もっと戦略的にグッズ販売を推していければよいと思っています。またふじみんが先ほどのお話しにも出ました、ふじみ野市をアピールする材料になればよいとも思っています。上田県知事が話しているような「役所文化」から脱却して、ふじみんをもっと売り出していけるように私も頑張りたいと思います。

参加者 いつもふじみ野駅を使っているのですが、ふじみ野駅では定期券が買えません。買えるようになりませんか。

市 長 東武鉄道の運営の関係なので、市民の方から意見があったことを沿線対策協議会などの席上で掛け合ってみます。

参加者 発券機の値段が高くて設置できないと聞いたことがあります。

市 長 市も鉄道会社にはいろいろ協力しているので、要望が叶えばよいなと思います。

参加者 子どもたちが使うプールが近くにあればよいのですが。

市 長 ふじみ野市では、今後プールを造る予定はありません。県で運営している水上公園等を使っていただくようお願いいたします。小さいお子さんが水遊びできる程度の公園を造ることは可能ですが、ご理解をお願いいたします。

参加者 水上公園は遠くて、子どもだけでは行くことができないのですが。

市 長 去年までは学校でプールを開放していましたが、付き添いの保護者も水着にならなければいけないなどの制約の問題からか、利用者が非常に少ないまま終わってしまいました。今年は民間のスポーツジムのご協力を得てプール開放事

業を実施しました。貴重な税金を、これからの生活の中で維持しなければならないところに使っていきたいと考える中、例えば市が借金をして問題に対応するにしても、今の人だけでなく未来の人たちのことも考えていかなければならないと思います。プールを要望される思うお気持ちは分かるのですが、市では作る予定がないということにどうぞご理解をお願いします。

参加者 丸山の鉄道ガード下の落書きについて、以前塗り替えてきれいにしたが、再び心無い人の手によって落書きされています。例えばきれいな絵などを描いたら落書きされないのではないのでしょうか。

市 長 ガードの管理は東武鉄道なので即答できませんが、持ち帰って検討します。

参加者 少子高齢化といわれている昨今、市として少子化を食い止める対策はありますか。

市 長 先々の年代の人のことを考えると、国に対策を求めるだけでなく地元などでも問題意識を持っていくべきと思います。婚活などあるとよいですね。過去には市の商工会が行いましたが、今現在市としての具体策があるわけではないので、他人事と思わず検討していきたいと思います。